消防用設備の **落とし穴** について

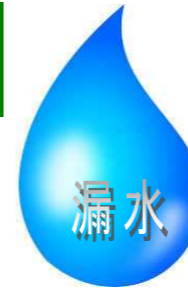
- 西日本防災システム

消火設備の落とし穴

水系設備全般



水系消火設備 に係る



POINT!



水系消火設備に於いて**最大の弱点**が、埋設部分での**漏水**です。そのほとんどは専用貯水槽からポンプ室への配管、連結送水管からの配管、ポンプ室から建屋への配管などです。

埋設配管での**漏水**は様々な**程度**があります。消火活動に完全に支障が生じるほどの**断裂**もあれば、じわじわと滲み出る程度のもので様々です。

ですが、“ここまでの漏水は放水可能だからOK”という基準も存在しませんので、**耐圧性能**を調べて**圧力維持が出来なければ**、**不良**という結果になります。

腐食により損傷した配管は**経年と共にその腐食範囲と程度は悪くなります**。**決して良くはなりません**。埋設部分での**漏水**のおそれがある場合は早急に改修されることをお勧め致します。

POINT!

スプリンクラー消火設備など圧力維持が基本の設備の漏水や、補助高架水槽を使用した湿式配管の場合は比較的判別が容易です。

改修の際のポイント!



埋設配管で漏水した場合、その埋設距離とルートにより、改修方法は様々です。比較的漏水部分が発見しやすい場所であったり、埋設部分を掘削しても周辺の通行や安全に支障が無い場合などは、

漏水部分のみの改修でも処理できますが、漏水部分の**特定が不可能**な場合や、同じ条件での**埋設距離が長い**場合などは、経年と共に他の部分での漏水発生の可能性も大きいことから、

新規迂回配管を施工される事をお勧めいたします。配管ルート等は綿密な調査の上決定する必要があります。

新規配管工事の場合は**将来を考慮**して、**可能な限り**、すべて**露出配管**としてください。露出配管の場合、特に**凍結**や**いたずら**に配慮してください。



西日本防災システム
NISHINIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd
<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社Top Pageへ